

チャバネアオカメムシの発生状況（第9報）

令和8（2026）年7月16日
河内農業振興事務所

1 河内管内のフェロモントラップ誘殺状況について

上小池町の誘殺数は急増しています。瓦谷町、古賀志町も7月第1半旬に比べ急増し、平年より多くなっています（表1）。また、クサギカメムシの次世代幼虫も確認されており、第一世代成虫の増加に注意が必要です。園内外（特に周縁部）を観察し、飛来を確認した場合には薬剤防除を行いましょう。

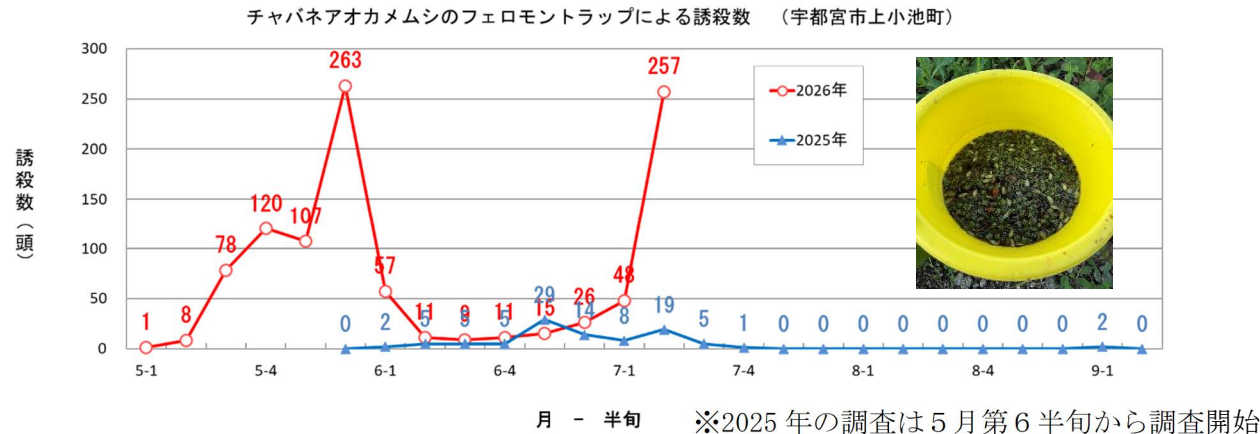


なお、県内の病虫害発生予察情報については、県農業総合研究センターホームページ（<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/yosatsu.html>）で随時公開中です。また、栃木県防災 LINE でも情報提供を行っています。

表1 チャバネアオカメムシの誘殺頭数（河内管内）

調査地点 調査時期	上小池町※1		瓦谷町※2			古賀志町※2		
	R 8	R 7	R 8	R 7	平年	R 8	R 7	平年
6月第6半旬	26	14	146	0	100	96	3	49
7月第1半旬	48	8	58	2	75	119	2	61
7月第2半旬	257 ↗	19	146 ↗	1	102	236 ↗	0	80

※1 河内農業振興事務所独自調査 ※2 県農業総合研究センター調べ ※3 矢印は平年比較



2 県内設置のフェロモントラップ誘殺状況について

県内各地の誘殺状況は表2のとおりで、7月第2半旬は7月第1半旬に比べ増加し、平年に比べても多くなっています。また、那須烏山市は7月第1半旬に引続き急増しています。

表2 チャバネアオカメムシ誘殺頭数（河内管内以外） ※矢印は平年比較

調査地点 調査時期	芳賀町		那須烏山市		矢板市		佐野市	
	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年	R 8	平年
6月第6半旬	349	38	734	23	13	24	10	33
7月第1半旬	341	35	1,622	28	21	21	22	35
7月第2半旬	393 ↗	33	2,371 ↗	42	23 ↗	16	45 ↗	40

県農業総合研究センター
発生予察情報

栃木県防災 LINE
(LINEID: @756bxcgu)